

## 国内自転車生産・輸出入状況（平成30年1～9月）

### 1. はじめに

このレポートは、我が国の自転車生産及び輸出入状況を総合的に分析することにより、我が国自転車市場の動向を明らかにすることを目的としている。まず経済産業省の生産動態統計を活用し、国内の自転車生産企業の生産状況を把握したうえで、出荷・在庫状況を含めた総合的な生産活動状況について説明し、更に時系列的な推移を示す。続いて、現在わが国の自転車市場においては輸入車が大きな割合を占めているため、財務省貿易統計を用い車種別及び時系列的輸入状況を明らかにし自転車市場の趨勢をつかんだうえで、生産状況と併せて我が国自転車市場の動向を包括的に解説する。最後に、中古車が主体となっている我が国の自転車輸出状況について簡単に言及する。

平成30年1～9月期の生産状況は、総生産台数・総生産金額ともに前年同期を下回り、総生産台数は過去15年間で最低となった。一方、平成30年1～9月期の輸入状況については、やはり前年同期に比べ総輸入台数、総輸入金額ともに減少し、総輸入台数は過去15年間で最低となった。これらの結果、生産台数に輸入台数を加えた平成30年1～9月の国内向け数量は過去15年間で最低となっているが、過去14年間で最低であった平成29年1～9月期を更に9%強下回っている。

尚、平成30年分の報告より生産状況の過去の推移について、輸出入と同様15年間にわたり対象とするよう改めている。また、経済産業省生産動態統計の金額表示が平成29年より千円単位となったため、これに合わせ当該期間の金額欄を千円単位で示すようにしてある。更に貿易統計において、平成29年からモーターサイクルの輸入統計品目の中に「駆動原動機として電動機を有するもの8711.60000」が新たに区分されている。輸入電動アシスト自転車はこの中に含まれていると思われるため、分析対象をこれまでの「その他のモーターサイクル」から変更している。平成30年1～9月の「駆動原動機として電動機を有するもの8711.60000」の輸入は、対前年同期比で大幅に増加している。

### 2. 我が国の自転車生産

#### 2-1 平成30年1～9月の生産状況の概要

経済産業省生産動態統計調査によると、平成30年1～9月の我が国の完成自転車生産台数は623,456台、完成自転車生産金額は395億7,013万4千円であった。これらを前年同期と比較すると、総生産台数は4.1%減少し、総生産金額も1.9%減少した。また平成30年1～9月の完成自転車生産平均単価は63,469円となっており、前年同期の62,081円から2.2%上昇した。これらの模様を表1に示す。

表1 平成30年1～9月の我が国自転車生産 前年同期との比較

	総生産台数	総生産金額(千円)	平均単価(円)
平成30年1～9月	623,456	39,570,134	63,469
平成29年1～9月	649,945	40,349,190	62,081
変化	-26,489	-779,056	1,388
変化%	-4.1%	-1.9%	2.2%

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成29年数値は改定値）、  
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

平成30年1～9月の車種別の生産状況を前年同期と比較したものが表2である。「軽快車」と「その他」は台数・金額とも減少した。「電動アシスト車」は台数・金額とも僅かに増加している。

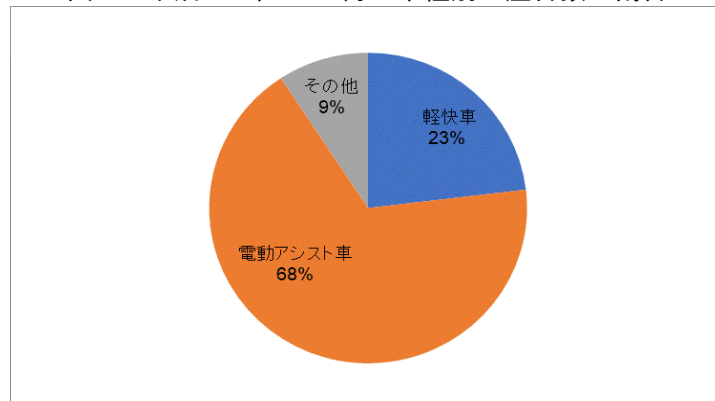
表2 車種別生産状況 平成30年1～9月と平成29年1～9月との比較

1～9月	平成30年		平成29年		変化			
	台数	金額(千円)	台数	金額(千円)	台数	%	金額(千円)	%
軽快車	144,058	3,658,904	167,191	4,130,377	-23,133	-13.8	-471,473	-11.4
電動アシスト車	421,888	34,587,864	419,792	34,567,425	2,096	0.5	20,439	0.1
その他	57,510	1,323,366	62,962	1,651,388	-5,452	-8.7	-328,022	-19.9
計	623,456	39,570,134	649,945	40,349,190	-26,489	-4.1	-779,056	-1.9

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成29年数値は改定値）、  
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

表2を基に平成30年1～9月の車種別の生産台数の割合をグラフで示したものが図Aである。「電動アシスト車」が68%を占め、次いで「軽快車」が23%を占めている。

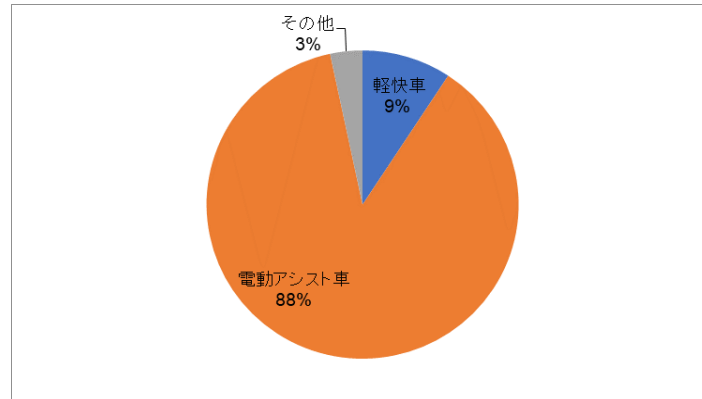
図A 平成30年1～9月 車種別生産台数の割合



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

また同様に、表2を基に平成30年1～9月の車種別の生産金額の割合をグラフで示したものが図Bである。「電動アシスト車」が88%を占めている。

図 B 平成 30 年 1～9 月 車種別生産金額の割合



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に車種別の生産平均単価について、平成 30 年 1～9 月と平成 29 年 1～9 月とを比較した表 3 を示す。「軽快車」が上昇している一方で、「電動アシスト車」と「その他」は下落している。

表 3 車種別生産平均単価 平成 30 年 1～9 月と平成 29 年 1～9 月との比較

車種	平成 30 年 1～9 月 生産平均単価(円)	平成 29 年 1～9 月 生産平均単価(円)	変化 (円)	変化(%)
軽快車	25,399	24,705	694	2.8
電動アシスト車	81,984	82,344	-361	-0.4
その他	23,011	26,228	-3,217	-12.3
計	63,469	62,081	1,388	2.2

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成 29 年数値は改定値）、  
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

月毎の「電動アシスト車」の生産台数・金額・平均単価を調べてみると表 4 の通りとなる。6 月以降対前年同月比の生産台数の減少が始まり、9 月は大きく減少している。1～9 月の生産台数・生産金額の対前年同期比増加分はごく僅かとなってしまった。

表 4 「電動アシスト車」の月毎の生産状況 平成 30 年と平成 29 年との比較

	平成 30 年			平成 29 年			生産台数 の変化 (台)	生産金額 の変化 (千円)	平均単価 の変化 (円)
	生産台数 (台)	生産金額 (千円)	平均単価 (円)	生産台数 (台)	生産金額 (千円)	平均単価 (円)			
1 月	46,507	3,774,633	81,163	42,881	3,353,599	78,207	3,626	421,034	2,956
2 月	54,734	4,613,710	84,293	45,846	3,598,906	78,500	8,888	1,014,804	5,793
3 月	60,222	4,722,509	78,418	54,542	4,308,845	79,000	5,680	413,664	-582
4 月	48,918	3,725,556	76,159	48,120	4,160,301	86,457	798	-434,745	-10,298
5 月	48,452	4,019,285	82,954	45,740	3,923,416	85,776	2,712	95,869	-2,823
6 月	46,684	3,856,544	82,610	50,332	4,211,644	83,677	-3,648	-355,100	-1,068
7 月	42,675	3,527,838	82,668	45,142	3,802,134	84,226	-2,467	-274,296	-1,559
8 月	35,636	3,061,485	85,910	40,093	3,380,717	84,322	-4,457	-319,232	1,588
9 月	38,060	3,286,304	86,345	47,096	3,827,863	81,278	-9,036	-541,559	5,067
1～9 月	421,888	34,587,864	81,984	419,792	34,567,425	82,344	2,096	20,439	-361

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成 29 年数値は改定値）、  
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会 尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

## 2-2 我が国自転車生産企業の総合的な生産・出荷・在庫状況

平成30年1～9月における、「生産」「受入」「出荷(販売及びその他)」、そして「月末在庫」も含んだ総合的な生産・販売状況について、前年同期と比較したものが表5である。

表5 我が国自転車生産企業の生産・出荷・在庫状況  
平成30年1～9月と平成29年1～9月との比較

車種	生産		受入 (台)	出荷			9月末在庫 (台)
	台数	金額(千円)		販売		その他 (台)	
			台数	金額(千円)			
平30.1～9 軽快車	144,058	3,658,904	403,199	439,737	7,336,534	142,708	27,811
平29.1～9 軽快車	167,191	4,130,377	509,383	508,828	8,246,297	206,412	46,247
変化 %	-13.8	-11.4	-20.8	-13.6	-11.0	-30.9	-39.9
平30.1～9 電動アシスト車	421,888	34,587,864	395,463	505,044	41,138,271	293,545	67,230
平29.1～9 電動アシスト車	419,792	34,567,425	369,593	468,856	37,491,300	328,703	30,539
変化 %	0.5	0.1	7.0	7.7	9.7	-10.7	120.1
平30.1～9 その他	57,510	1,323,366	244,261	250,382	5,790,379	46,359	43,386
平29.1～9 その他	62,962	1,651,388	335,255	289,185	6,595,021	109,157	33,099
変化 %	-8.7	-19.9	-27.1	-13.4	-12.2	-57.5	31.1
平30.1～9 全車種計	623,456	39,570,134	1,042,923	1,195,163	54,265,184	482,612	138,427
平29.1～9 全車種計	649,945	40,349,190	1,214,231	1,266,869	52,332,618	644,272	109,885
変化 %	-4.1	-1.9	-14.1	-5.7	3.7	-25.1	26.0

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成29年数値は改定値）、

加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

「受入」台数についてみると、平成30年1～9月の全車種の「受入」台数は平成29年1～9月の「受入」台数に比べ14.1%減少した。「軽快車」と「その他」が大きく減少した一方で、「電動アシスト車」は増加した。

次に「出荷・販売」台数についてみると、平成30年1～9月の全車種の「出荷・販売」台数は平成29年1～9月のそれに比べ5.7%減少した。やはり「軽快車」と「その他」が減少している。

「出荷・販売」金額については、全車種の「出荷・販売」金額は3.7%増加した。「電動アシスト車」が増加した一方で、「軽快車」と「その他」は減少している。

平成30年1～9月の全車種の「出荷・その他」台数は、平成29年1～9月のそれに比べ25.1%減少した。すべての車種で減少が示されている。尚、「出荷・その他」とは受託生産品を委託生産業者へ出荷する等したものである。

「月末在庫」については、平成30年9月の全車種の「月末在庫」台数は138,427台で、前年同月と比べ26.0%増加した。「電動アシスト車」の在庫が大幅に増加している。

### 2-3 1~9月の生産状況の過去15年間の推移

表6に平成16年から平成30年まで過去15年間の毎年1~9月の我が国の自転車生産、出荷及び9月末在庫台数の推移を示す。

表6 我が国自転車生産企業の毎年1~9月の自転車生産・出荷  
及び9月末在庫の過去15年間の推移

1~9月	生産			出荷			9月末在庫 台数(台)
	台数(台)	金額*	平均単価 (円)	台数(台)	金額*	平均単価 (円)	
平成30年	623,456	39,570,134	63,469	1,195,163	54,265,184	45,404	138,427
平成29年	649,945	40,349,190	62,081	1,266,869	52,332,618	41,309	109,885
平成28年	704,637	40,259	57,134	1,271,904	46,619	36,653	125,811
平成27年	661,545	34,110	51,561	1,226,711	41,376	33,729	116,411
平成26年	713,781	35,399	49,594	1,358,934	42,020	30,921	120,243
平成25年	714,851	31,472	44,026	1,439,288	41,178	28,610	172,231
平成24年	781,456	31,333	40,096	2,133,627	47,298	22,168	200,587
平成23年	831,406	32,806	39,458	2,422,142	51,603	21,305	184,768
平成22年	797,261	28,240	35,421	2,423,522	46,420	19,154	157,379
平成21年	792,224	25,658	32,387	2,462,655	44,584	18,104	172,896
平成20年	810,141	20,778	25,647	2,752,694	41,621	15,120	154,625
平成19年	854,776	18,946	22,165	2,877,110	37,740	13,117	168,033
平成18年	1,031,806	19,538	18,936	3,173,847	37,993	11,971	190,393
平成17年	1,520,226	24,056	15,824	4,142,301	45,511	10,987	273,655
平成16年	1,910,976	28,298	14,808	4,097,349	45,526	11,111	321,754

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成29年以前の数値は改定値）、

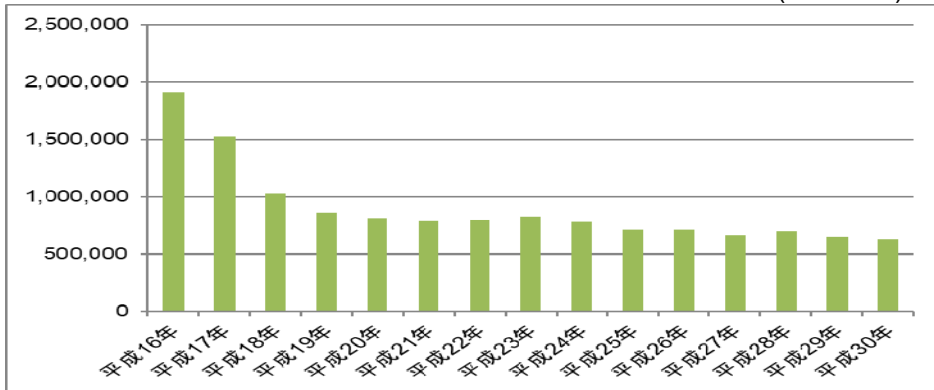
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

\*平成28年以前は百万円単位、平成29年以降は千円単位

平成30年1~9月の「生産台数」は、過去15年間で最低となっている。一方、「生産金額」は過去15年間で3番目となっている。これらのことから「生産平均単価」は過去15年間で最高である。また平成30年1~9月の「出荷台数」は過去15年間で最低、「出荷金額」は過去15年間で最高であった。「出荷平均単価」は過去15年間で最高となっている。また「生産平均単価」と「出荷平均単価」とを比べると「生産平均単価」の方が15年間一貫して高くなっている。「9月末在庫台数」は138,427台で、過去15年間で11番目となっている。

表6を基に平成16年から平成30年までの過去15年間の毎年1~9月の生産台数の推移をグラフで示したものが図Cである。生産台数は低迷している。

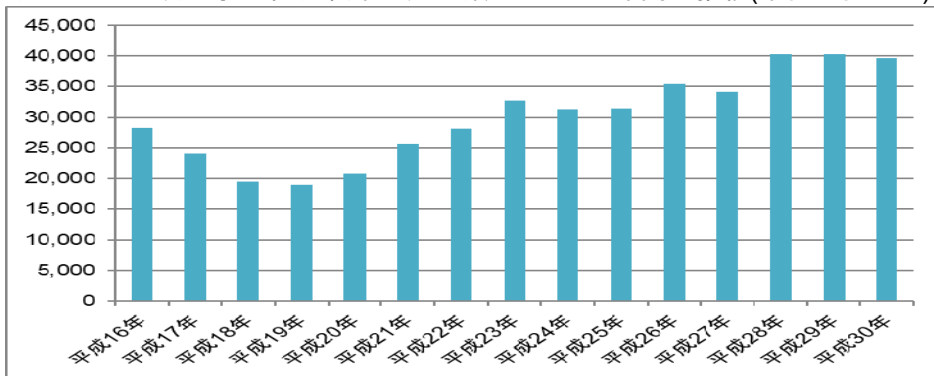
図 C 1～9月の我が国自転車生産台数の過去15年間の推移(単位：台)



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に、表6を基に平成16年から平成30年までの過去15年間の毎年1～9月の生産金額の推移をグラフで示したものが図Dである。

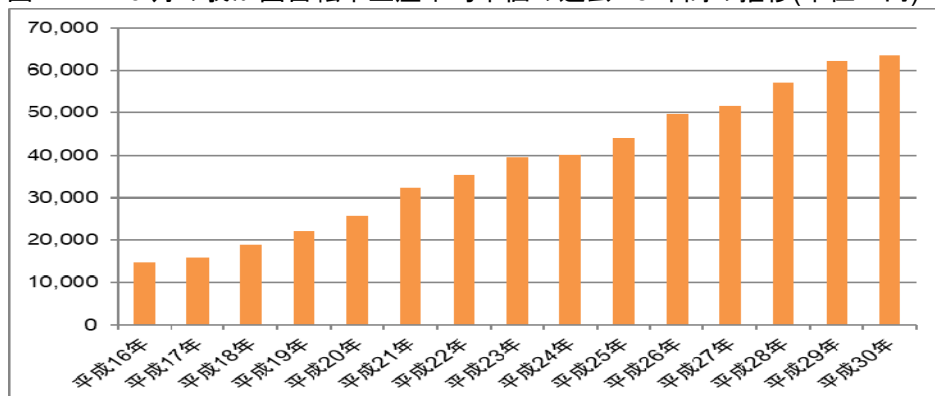
図 D 1～9月の我が国自転車生産金額の過去15年間の推移(単位：百万円)



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に、表6を基に平成16年から平成30年までの過去15年間の毎年1～9月の生産平均単価の推移をグラフで示したものが図Eである。生産平均単価は上昇傾向にある。

図 E 1～9月の我が国自転車生産平均単価の過去15年間の推移(単位：円)



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に、月毎の総生産台数の過去 15 年間の推移を表 7 に示す。

表 7 月毎の総生産台数の過去 15 年間の推移（単位：台）

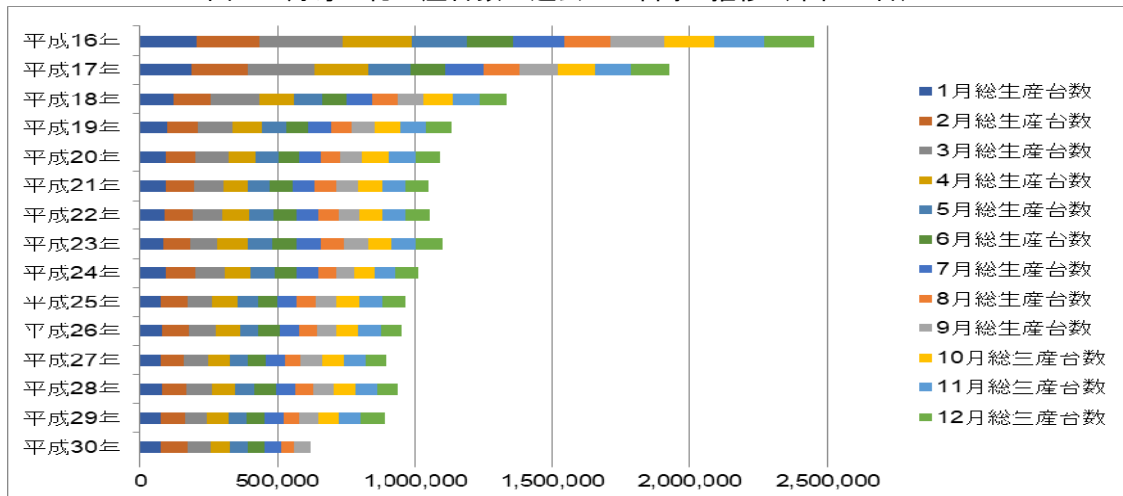
年	1月総生産台数	2月総生産台数	3月総生産台数	4月総生産台数	5月総生産台数	6月総生産台数
平成 30 年	78,463	93,312	85,655	70,043	64,251	62,512
平成 29 年	79,215	86,276	82,628	74,710	63,706	68,896
平成 28 年	82,586	88,069	94,670	81,062	72,186	78,781
平成 27 年	78,891	81,242	89,722	75,857	66,218	68,133
平成 26 年	84,512	93,408	100,416	83,216	72,121	74,255
平成 25 年	79,022	92,667	93,062	88,877	75,906	71,711
平成 24 年	96,874	105,350	106,202	95,001	85,528	83,915
平成 23 年	86,445	98,081	98,935	107,181	90,542	92,009
平成 22 年	93,923	99,424	106,524	98,097	87,516	86,269
平成 21 年	96,944	99,314	106,639	94,506	76,287	80,900
平成 20 年	97,728	104,912	121,903	96,456	82,921	78,520
平成 19 年	99,537	108,413	130,721	108,017	86,039	81,714
平成 18 年	124,909	133,470	177,599	128,017	97,944	93,522
平成 17 年	186,677	207,574	239,561	197,996	151,547	129,232
平成 16 年	204,286	233,162	302,975	250,436	197,546	170,012

年	7月総生産台数	8月総生産台数	9月総生産台数	10月総生産台数	11月総生産台数	12月総生産台数	総生産台数
平成 30 年	57,334	52,692	59,194				623,456
平成 29 年	66,260	60,279	67,975	74,071	81,506	85,328	890,850
平成 28 年	71,533	64,278	71,472	82,749	76,539	75,100	939,025
平成 27 年	64,647	62,481	74,354	82,311	79,144	75,095	898,095
平成 26 年	74,981	62,167	68,705	81,603	78,727	77,437	951,548
平成 25 年	72,325	66,889	74,392	82,781	84,937	83,385	965,954
平成 24 年	74,820	65,045	68,721	73,476	73,695	83,687	1,012,314
平成 23 年	83,200	86,553	88,460	86,528	87,020	96,712	1,101,666
平成 22 年	75,897	72,056	77,555	82,694	86,498	90,498	1,056,951
平成 21 年	80,068	76,206	81,360	88,312	85,103	83,830	1,049,469
平成 20 年	76,552	70,488	80,661	95,816	98,763	90,212	1,094,932
平成 19 年	79,147	79,509	81,679	91,745	93,341	95,744	1,135,606
平成 18 年	87,738	94,248	94,359	105,347	99,636	97,723	1,334,512
平成 17 年	138,579	130,081	138,979	135,527	132,069	138,614	1,926,436
平成 16 年	185,261	167,839	199,459	181,744	180,862	181,059	2,454,641

出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
平成 29 年以前の数値は改定値

表 7 の月毎の総生産台数の過去 15 年間の推移をグラフにより示したものが図 F である。各月、比較的均等に生産が行われている様子がわかる。

図 F 月毎の総生産台数の過去 15 年間の推移 (単位: 台)



出典: 経済産業省生産動態統計調査、加工分析: 一般財団法人自転車産業振興協会

更に 1~9 月の車種別の生産台数の過去 15 年間の推移を表 8 に示す。

表 8 1~9 月の車種別生産台数の過去 15 年間の推移 (単位: 台)

年	軽快車	電動アシスト車	その他	計
平成 30 年	144,058	421,888	57,510	623,456
平成 29 年	167,191	419,792	62,962	649,945
平成 28 年	204,316	419,974	80,347	704,637
平成 27 年	226,405	346,678	88,462	661,545
平成 26 年	240,430	373,612	99,739	713,781
平成 25 年	276,806	333,121	104,924	714,851
平成 24 年	370,478	305,740	105,238	781,456
平成 23 年	396,759	325,571	109,076	831,406
平成 22 年	401,719	270,666	124,876	797,261
平成 21 年	409,556	242,602	140,066	792,224
平成 20 年	470,423	207,668	132,050	810,141
平成 19 年	516,798	198,460	139,518	854,776
平成 18 年	671,357	181,343	179,106	1,031,806
平成 17 年	1,036,648	172,502	311,076	1,520,226
平成 16 年	1,299,361	182,524	429,091	1,910,976

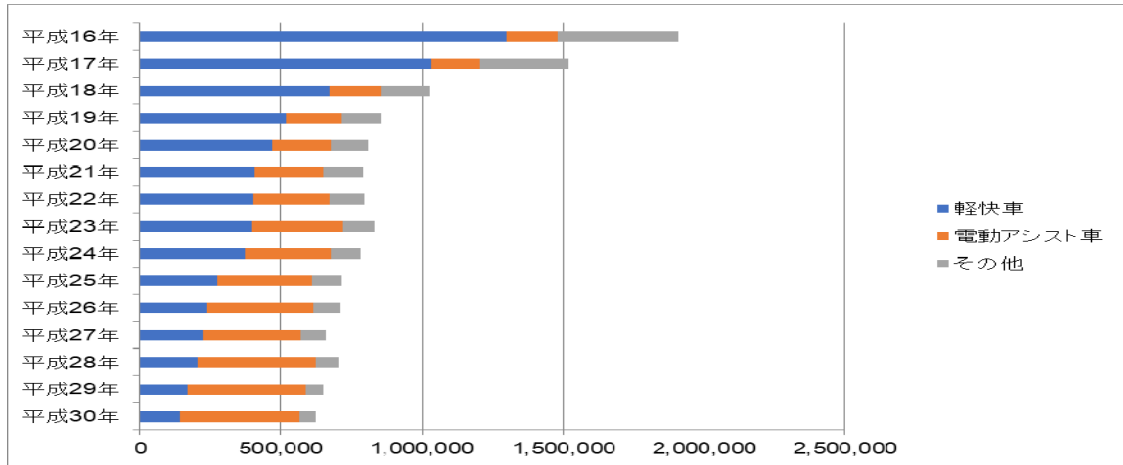
平成 23 年から従来の「子供車及び幼児車」、「ミニサイクル」、「マウンテンバイク」、「特殊車」を統合し、「その他」と名称変更。平成 16 年から平成 22 年までの「その他」の数値は、これら 4 区分の合計数値。

出典: 経済産業省生産動態統計調査、加工分析: 一般財団法人自転車産業振興協会

表 8 に示した 1~9 月の車種別の生産台数の過去 15 年間の推移をグラフにより示したものが図 G である。「軽快車」が減少し「電動アシスト車」が増加している模様が示されている。



図 G 1～9月の車種別生産台数の過去15年間の推移



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

### 3. 我が国の自転車輸入

以下に輸入状況を示していくが、我が国の輸入における関税番号及び車種については次の通り分類されている。尚、電動アシスト車は独立した輸入関税区分が立てられておらず、モーターサイクルの中に「駆動原動機として電動機を有するもの」が区分されており、輸入電動アシスト車はこの中に含まれているものと思われる。しかしこの区分には、電動オートバイも含まれているので注意が必要である。

表9 輸入における車種区分 関税番号

関税番号／品名区分	車種
8712.00100 マウンテンバイク	・MTB(Vブレーキ・Diskブレーキ装着車を含む) ・クロスバイク
8712.00211 ミニサイクル	・ミニサイクル ・小径折りたたみ車 ・BMX
8712.00218 幼児車	・幼児車(12～16吋) ・乗用玩具(12吋二輪車) ・一輪車(12～16吋)
8712.00219 子供車	・子供車(18～24吋) ・Jr.MTB(18～24吋) ・一輪車(18～24吋)
8712.00291 軽快車	・軽快車(外装変速機付は含まない) ・シングル、内装変速機付スポーツ車
8712.00299 その他	・スポーツ車 ・外装変速機付軽快車 ・Jr.MTB(26吋)
8711.60000 駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル	・電動オートバイ、電動アシスト自転車がこの区分の中に含まれる

出典：一般財団法人自転車産業振興協会

### 3-1 平成30年1~9月の輸入状況の概要

表10は、平成30年1~9月の「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を除く全ての車種の自転車の我が国への輸入について、前年同期と比較しながら示したものである。総台数は4,755,301台となり前年同期から9.9%減少した。一方、総CIF金額は562億3,665万4千円となり前年同期比2.3%減少した。これらの結果、平均CIF単価は11,826円となり前年同期比8.5%上昇している。

尚、この間のドル円為替レートを見ると、平成29年1~9月の平均レートはUS1\$=JPY112.18であったのに対し、平成30年1~9月の平均レートはUS1\$=JPY109.65(ともに税関長公示レートを参考にした)であり、円高となっている。

表10 平成30年1~9月の我が国の自転車輸入 平成29年1~9月との比較  
(「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)

	総台数(台)	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
平成30年1~9月	4,755,301	56,236,654	11,826
平成29年1~9月	5,279,296	57,550,264	10,901
変化	-523,995	-1,313,610	925
変化%	-9.9	-2.3	8.5

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

参考まで平成30年1~9月の我が国の「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入の様態を附表に示した。台数・金額ともに前年同期比で80%増と大幅に増加しており、前述した「電動アシスト車」の生産状況とは大きく異なる状況となっている。

表10附表 参考 平成30年1~9月の我が国の  
「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入  
平成29年1~9月との比較

	総台数(台)	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
平成30年1~9月	234,246	9,135,154	38,998
平成29年1~9月	128,804	5,031,055	39,060
変化	105,442	4,104,099	-62
変化%	81.9	81.6	-0.2

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

### 3-2 平成30年1~9月の車種別輸入状況

表11は平成30年1~9月の我が国の自転車輸入に関し、車種別の状況を示したものである。

表 1 1 平成 30 年 1～9 月 我が国の車種別自転車輸入

関税番号及び車種	総台数(台)	総 CIF 金額(千円)	平均 CIF 単価(円)
8712.00100 マウンテンバイク	120,388	2,329,044	19,346
8712.00211 ミニサイクル	181,671	2,207,116	12,149
8712.00218 幼児車	329,774	2,449,411	7,428
8712.00219 子供車	1,097,099	10,232,960	9,327
8712.00291 軽快車	1,320,949	12,487,195	9,453
8712.00299 その他	1,705,420	26,530,928	15,557
計	4,755,301	56,236,654	11,826

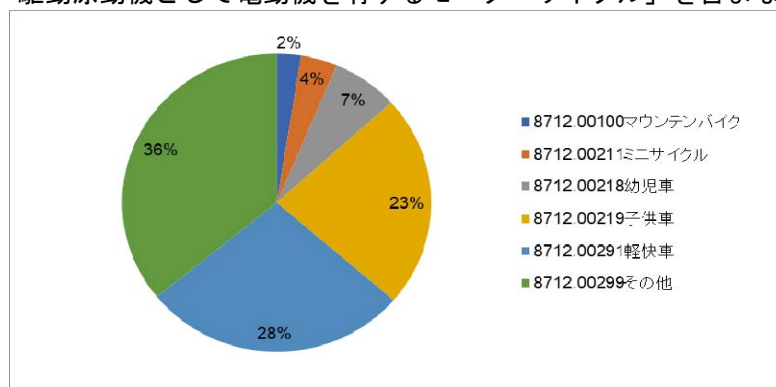
8711.60000 駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル	234,246	9,135,154	38,998
------------------------------------	---------	-----------	--------

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

8712.00100 に分類される「マウンテンバイク」は、平均 CIF 単価が 19,346 円と「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を除き最も高くなっている。8712.00291 に分類される「軽快車」は、スポーツ車や外装変速機付軽快車等が含まれる 8712.00299 「その他」に次いで台数が多くなっている。平均 CIF 単価は 9,453 円である。その 8712.00299 「その他」は、台数が最も多いほか、総 CIF 金額も各輸入車種区分の中で最も多くなっている。平均 CIF 単価は 15,557 円である。

表 1 1 を基に、平成 30 年 1～9 月の我が国自転車輸入について車種別の台数割合をグラフにより示したものが図 H である。「その他」が 36%、「軽快車」が 28%を占めている。

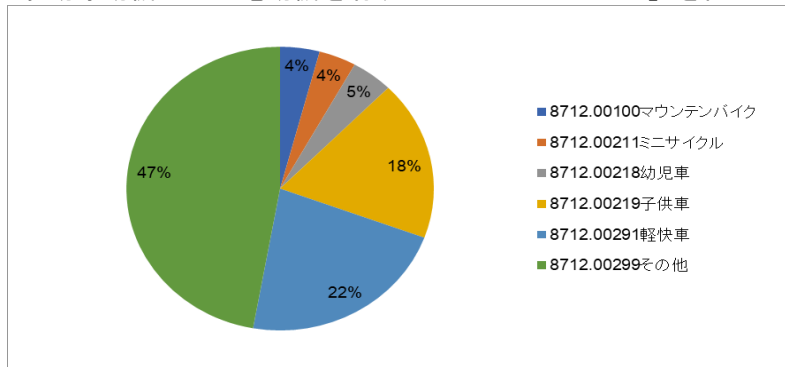
図 H 平成 30 年 1～9 月の我が国自転車輸入 車種別台数割合  
(「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表 1 1 を基に、平成 30 年 1～9 月の我が国自転車輸入について車種別の金額割合をグラフにより示したものが図 I である。「その他」が 47%、「軽快車」が 22%を占めている。

図1 平成30年1～9月の我が国自転車輸入 車種別 CIF 金額の割合  
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表12は平成30年1～9月の我が国の車種別自転車輸入について前年同期と比較しながら示したものである。「マウンテンバイク」「幼児車」「子供車」「軽快車」は、台数及び金額ともに減少していることが示されている一方で、「ミニサイクル」が台数及び金額ともに大きく増加している。共用自転車向けの輸入が反映されているのかもしれない。但しここには示さないが、9月単月では「ミニサイクル」の輸入台数も7%の減少に転じており、足元では勢いにかげりが出始めている可能性がある。

表12 我が国の車種別自転車輸入 平成30年1～9月と平成29年1～9月との比較

1～9月 車種	平成30年		平成29年		変化%	
	台数	CIF金額(千円)	台数	CIF金額(千円)	台数	CIF金額
8712.00100 マウンテンバイク	120,388	2,329,044	130,534	2,493,146	-7.8%	-6.6%
8712.00211 ミニサイクル	181,671	2,207,116	135,601	1,727,116	34.0%	27.8%
8712.00218 幼児車	329,774	2,449,411	371,824	2,660,985	-11.3%	-8.0%
8712.00219 子供車	1,097,099	10,232,960	1,355,373	12,095,909	-19.1%	-15.4%
8712.00291 軽快車	1,320,949	12,487,195	1,519,012	13,940,363	-13.0%	-10.4%
8712.00299 その他	1,705,420	26,530,928	1,766,952	24,632,745	-3.5%	7.7%
計	4,755,301	56,236,654	5,279,296	57,550,264	-9.9%	-2.3%
平均単価(円)		11,826		10,901		8.5%

8711.60000 駆動原動機として 電動機を有する モーターサイクル	234,246	9,135,154	128,804	5,031,055	81.9%	81.6%
平均単価(円)		38,998		39,060		-0.2%

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

### 3-3 1~9月の輸入状況の過去15年間の推移

表13は毎年1~9月の我が国の自転車輸入の過去15年間の推移を示したものである。

表13 毎年1~9月の我が国の自転車輸入の過去15年間の推移 全車種  
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)

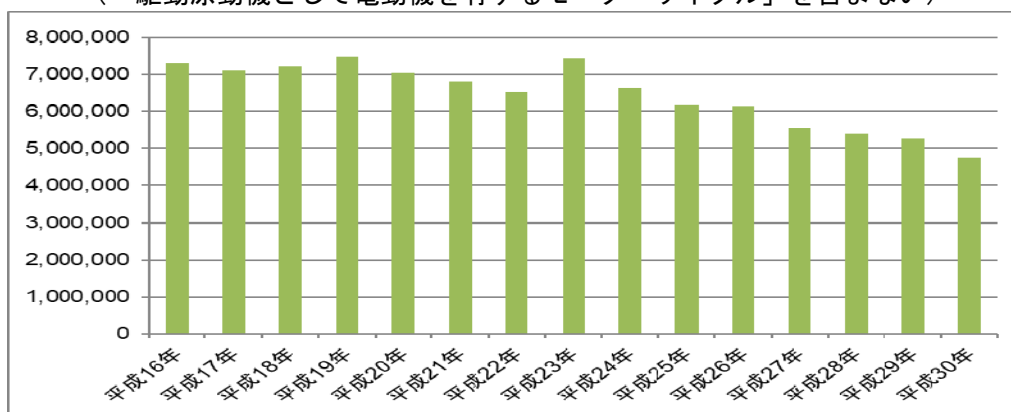
年	総輸入台数	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
平成30年	4,755,301	56,236,654	11,826
平成29年	5,279,296	57,550,264	10,901
平成28年	5,407,408	60,448,602	11,179
平成27年	5,563,740	72,368,904	13,007
平成26年	6,156,819	65,380,080	10,619
平成25年	6,164,050	60,817,427	9,866
平成24年	6,645,307	56,656,703	8,526
平成23年	7,439,430	57,834,666	7,774
平成22年	6,532,074	50,373,649	7,712
平成21年	6,805,437	56,381,637	8,285
平成20年	7,055,737	59,974,342	8,500
平成19年	7,472,189	57,862,958	7,744
平成18年	7,218,377	50,558,242	7,004
平成17年	7,122,058	44,209,302	6,207
平成16年	7,305,694	43,755,916	5,989

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成30年1~9月の総輸入台数は、過去15年間で最低である。一方、平成30年1~9月の総CIF金額は過去15年間で11番目である。平均CIF単価は11,826円で、過去15年間で2番目となっている。

表13を基に平成16年から平成30年までの過去15年間の毎年1~9月の輸入総台数の推移をグラフにより示したものが図Jである。台数は減少傾向にあることが示されている。

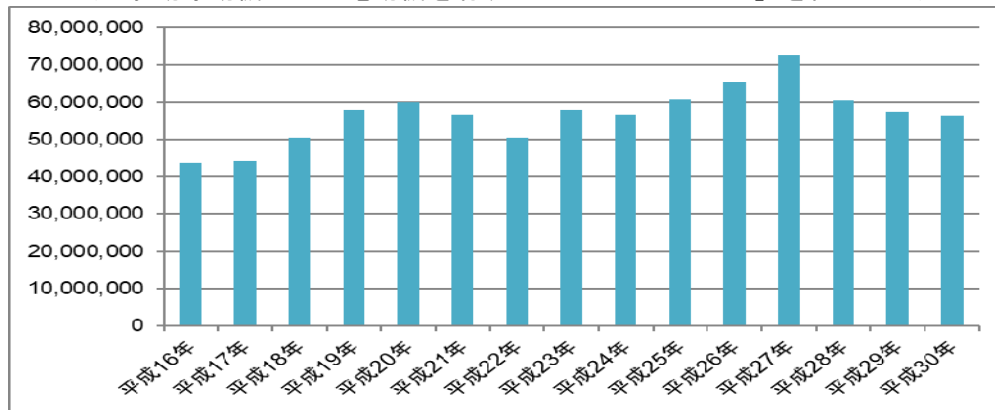
図J 毎年1~9月の我が国自転車輸入総台数の過去15年間の推移(単位：台)  
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表13を基に平成16年から平成30年までの過去15年間の毎年1~9月の輸入総CIF金額の推移をグラフにより示したものが図Kである。

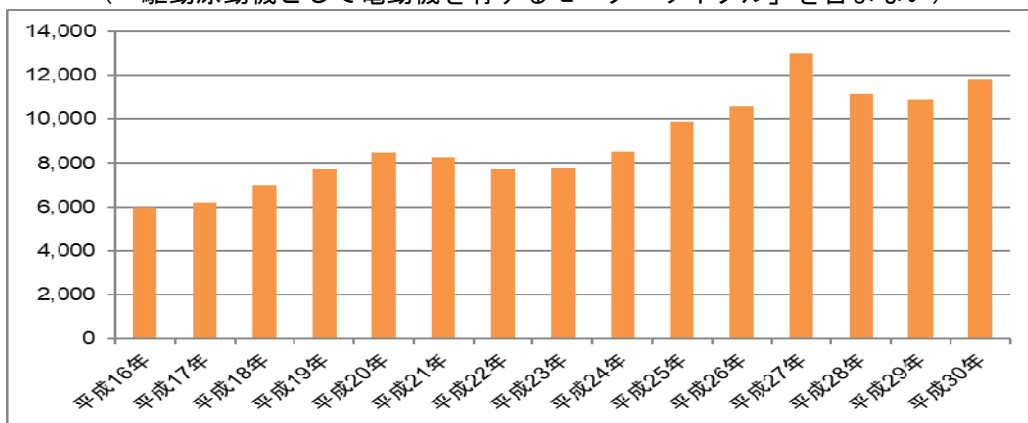
図 K 毎年 1～9 月の我が国自転車輸入総 CIF 金額の過去 15 年間の推移(単位：千円)  
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に表 1 3 を基に平成 16 年から平成 30 年までの過去 15 年間の毎年 1～9 月の輸入平均 CIF 単価の推移をグラフにより示したものが図 L ある。

図 L 毎年 1～9 月の我が国自転車輸入平均 CIF 単価の過去 15 年間の推移(単位：円)  
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に月毎の輸入台数の過去 15 年間の推移を示したものが表 1 4 である。

表 1 4 月毎の総輸入台数（「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」  
を含まない）の過去 15 年間の推移（単位：台）

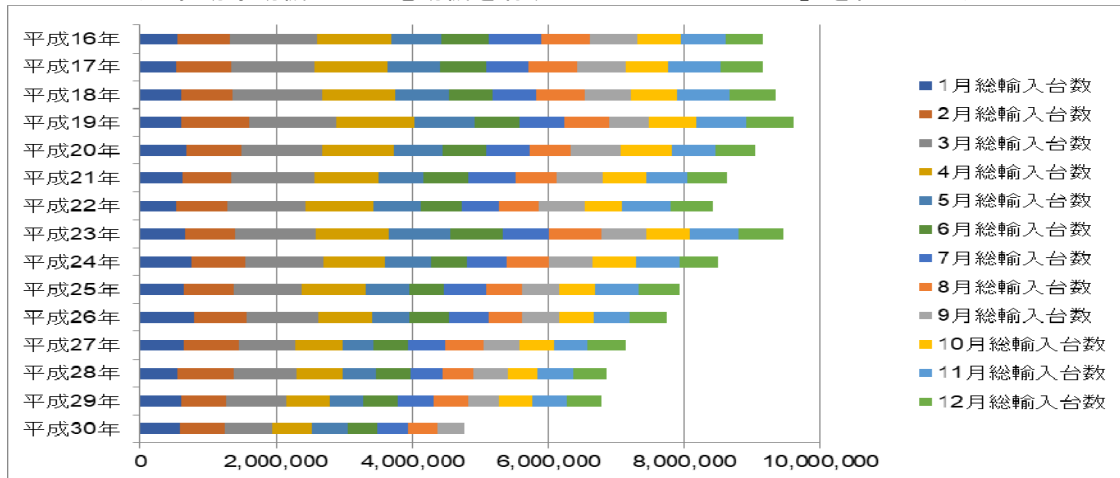
年	1月総輸入 台数	2月総輸入 台数	3月総輸入 台数	4月総輸入 台数	5月総輸入 台数	6月総輸入 台数
平成 30 年	584,582	672,121	684,815	588,526	515,094	434,024
平成 29 年	608,232	654,624	889,358	634,082	499,298	505,257
平成 28 年	559,379	823,009	916,762	673,000	493,419	507,531
平成 27 年	639,107	809,453	828,696	690,064	462,606	510,639
平成 26 年	800,012	758,904	1,067,576	783,049	546,090	581,432
平成 25 年	646,439	729,345	997,586	949,665	634,542	514,285
平成 24 年	759,838	779,645	1,156,072	904,565	672,252	525,908
平成 23 年	661,234	725,936	1,192,986	1,067,890	915,243	768,659
平成 22 年	529,116	759,113	1,140,340	1,002,806	691,515	600,223
平成 21 年	631,533	717,828	1,226,863	932,220	660,802	652,693
平成 20 年	679,048	809,921	1,195,076	1,041,042	718,439	623,626
平成 19 年	613,892	988,006	1,275,167	1,152,734	890,124	644,144
平成 18 年	602,545	765,063	1,303,124	1,075,231	796,610	633,795
平成 17 年	541,343	796,348	1,226,300	1,056,187	777,336	669,039
平成 16 年	556,120	767,570	1,280,277	1,081,557	727,411	723,301

年	7月総輸 入台数	8月総輸 入台数	9月総輸 入台数	10月総輸 入台数	11月総輸 入台数	12月総輸 入台数	総輸入台数
平成 30 年	452,637	430,168	393,334				4,755,301
平成 29 年	511,094	522,474	454,877	480,920	514,237	503,346	6,777,799
平成 28 年	460,740	464,093	509,475	438,628	518,622	484,729	6,849,387
平成 27 年	556,279	542,763	524,133	519,919	484,170	554,615	7,122,444
平成 26 年	572,129	504,218	543,409	502,832	540,165	534,548	7,734,364
平成 25 年	595,336	535,046	561,806	528,767	640,332	599,246	7,932,395
平成 24 年	586,024	629,284	631,719	642,217	649,625	562,295	8,499,444
平成 23 年	675,783	776,045	655,654	629,958	722,052	659,152	9,450,592
平成 22 年	562,581	582,646	663,734	546,459	719,973	603,440	8,401,946
平成 21 年	685,910	619,872	677,716	623,646	620,796	571,838	8,621,717
平成 20 年	646,395	612,531	729,659	770,349	625,626	582,061	9,033,773
平成 19 年	672,070	649,954	586,098	688,807	741,855	700,463	9,603,314
平成 18 年	643,767	724,797	673,445	684,487	767,415	668,893	9,339,172
平成 17 年	626,723	720,123	708,659	631,378	780,371	610,012	9,143,819
平成 16 年	755,089	715,190	699,179	653,057	648,234	531,426	9,138,411

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 1 4 の月毎の総輸入台数の過去 15 年間の推移をグラフにより示したものが図 M である。

図 M 月毎の総輸入台数の過去 15 年間の推移 (単位: 台)  
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典: 財務省貿易統計、加工分析: 一般財団法人自転車産業振興協会

表 15 は、毎年 1~9 月の我が国の車種別の自転車輸入台数の過去 15 年間の推移について示したものである。

表 15 毎年 1~9 月の我が国の車種別自転車輸入台数の過去 15 年間の推移 (単位: 台)  
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)

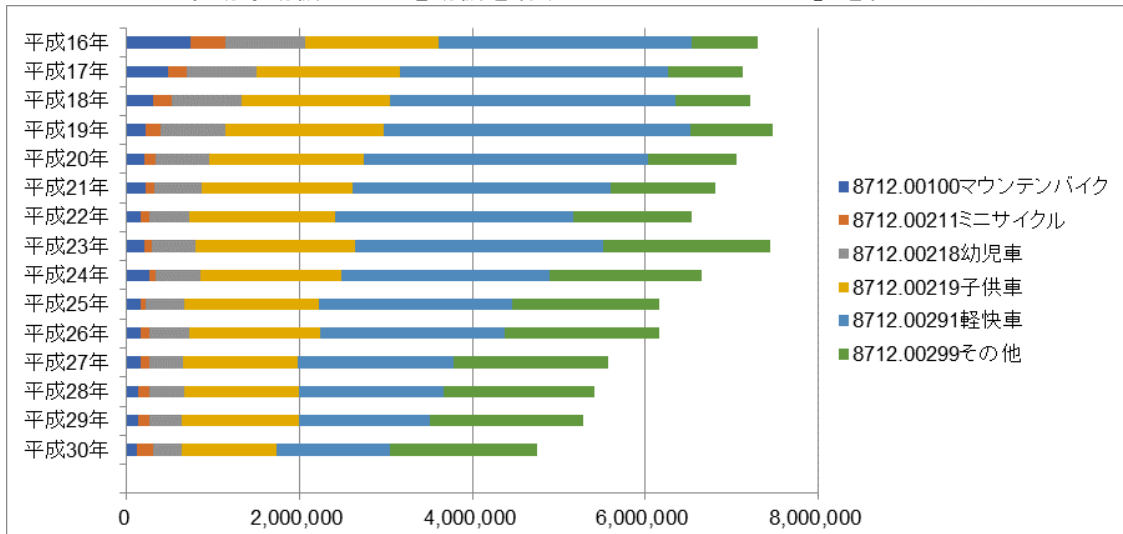
	8712.00100 マウンテン バイク	8712.00211 ミニ サイクル	8712.00218 幼児車	8712.00219 子供車	8712.00291 軽快車	8712.00299 その他	計
平成 30 年	120,388	181,671	329,774	1,097,099	1,320,949	1,705,420	4,755,301
平成 29 年	130,534	135,601	371,824	1,355,373	1,519,012	1,766,952	5,279,296
平成 28 年	134,725	124,708	406,683	1,333,207	1,671,031	1,737,054	5,407,408
平成 27 年	156,911	107,587	386,604	1,334,339	1,795,309	1,782,990	5,563,740
平成 26 年	161,017	102,141	459,005	1,510,857	2,137,669	1,786,130	6,156,819
平成 25 年	155,838	61,608	448,419	1,559,473	2,236,418	1,702,294	6,164,050
平成 24 年	263,293	73,898	520,291	1,625,858	2,412,687	1,749,280	6,645,307
平成 23 年	204,466	89,494	507,755	1,838,854	2,874,802	1,924,059	7,439,430
平成 22 年	159,596	100,863	463,636	1,680,444	2,763,673	1,363,862	6,532,074
平成 21 年	221,487	97,949	543,869	1,750,154	2,986,599	1,205,379	6,805,437
平成 20 年	206,337	127,621	617,671	1,795,229	3,282,025	1,026,854	7,055,737
平成 19 年	212,984	180,294	755,253	1,823,903	3,546,312	953,443	7,472,189
平成 18 年	300,333	221,438	812,645	1,712,322	3,304,125	867,514	7,218,377
平成 17 年	476,491	215,266	804,519	1,667,859	3,097,990	859,933	7,122,058
平成 16 年	731,326	411,346	926,063	1,533,653	2,933,335	769,971	7,305,694

出典: 財務省貿易統計、加工分析: 一般財団法人自転車産業振興協会

これらの模様をグラフで示すと図 N のようになる。



図 N 毎年 1～9 月の我が国の車種別自転車輸入台数の過去 15 年間の推移（単位：台）  
（「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

### 3-4 我が国の自転車輸入における主要供給元

平成 30 年 1～9 月の我が国の自転車輸入に関し、その主要供給元を示したものが表 1 6 である。

表 1 6 平成 30 年 1～9 月の我が国の完成自転車輸入 主要供給元  
（「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない）

供給元	台数	輸入総台数に占める割合 (%)	CIF 金額 (千円)	輸入総金額に占める割合 (%)	平均 CIF 単価(円)
中華人民共和国	4,634,491	97.5	48,466,640	86.2	10,458
台湾	105,752	2.2	6,569,193	11.7	62,119
その他	15,058	0.3	1,200,821	2.1	79,746
計	4,755,301	100.0	56,236,654	100.0	11,826

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

引き続き「中華人民共和国」が最大の供給元となっている。総台数の 97.5%、総 CIF 金額の 86.2% を占めている。平均 CIF 単価は 10,458 円であった。これに次ぐのが「台湾」で、総台数の 2.2%、総 CIF 金額の 11.7% を占めている。平均 CIF 単価は 62,119 円である。これら 2 つの国・地域で総台数の 99.7%、総 CIF 金額の 97.9% を占めている。

「中華人民共和国」からの車種別輸入状況は表 1 7 のようになっている。

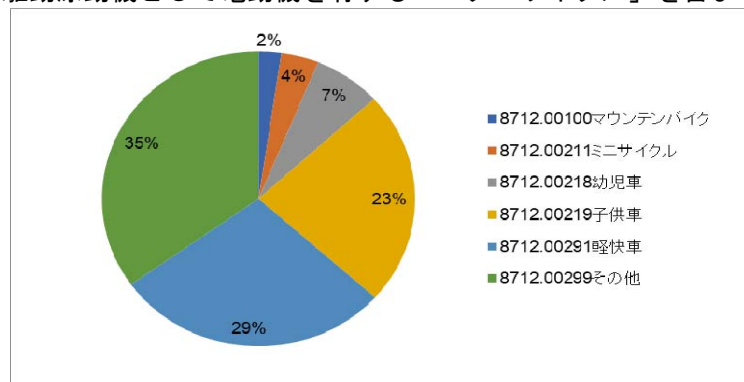
表 17 平成 30 年 1～9 月の我が国の「中華人民共和国」からの完成自転車輸入  
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)

関税番号及び車種	台数(台)	総 CIF 金額 (千円)	平均 CIF 単価 (円)
8712.00100 マウンテンバイク	108,782	1,804,965	16,592
8712.00211 ミニサイクル	179,500	2,092,522	11,658
8712.00218 幼児車	323,615	2,228,548	6,886
8712.00219 子供車	1,086,604	10,012,432	9,214
8712.00291 軽快車	1,319,987	12,450,081	9,432
8712.00299 その他	1,616,003	19,878,092	12,301
計	4,634,491	48,466,640	10,458

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 17 に示した平成 30 年 1～9 月の「中華人民共和国」からの自転車輸入について車種別の台数割合をグラフにより示したものが図 O である。「その他」が 35% を占め、次いで「軽快車」が 29% を占めている。「中華人民共和国」からの輸入台数が非常に多いため、我が国の全体の車種別輸入台数割合を示した図 H と似た状態が示されている。

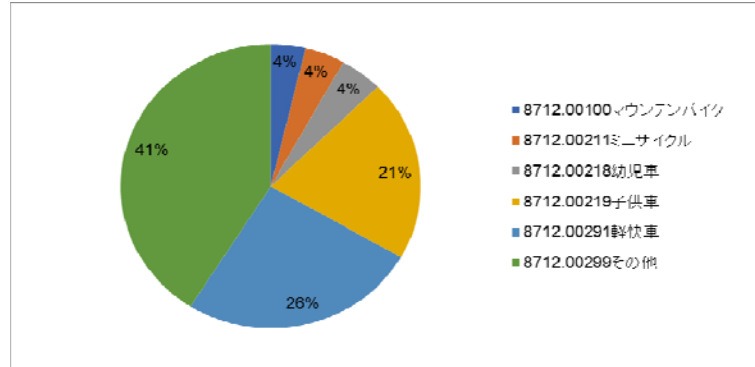
図 O 平成 30 年 1～9 月の我が国の「中華人民共和国」からの自転車輸入  
 車種別台数割合  
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表 17 に示した平成 30 年 1～9 月の「中華人民共和国」からの自転車輸入について、車種別の金額割合をグラフにより示したものが図 P である。「その他」が 41% を占め、次いで「軽快車」が 26% を占めている。

図 P 平成 30 年 1～9 月の我が国の「中華人民共和国」からの自転車輸入  
車種別 CIF 金額割合  
(「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

続いて「台湾」からの車種別輸入状況を示すと表 18 のようになっている。

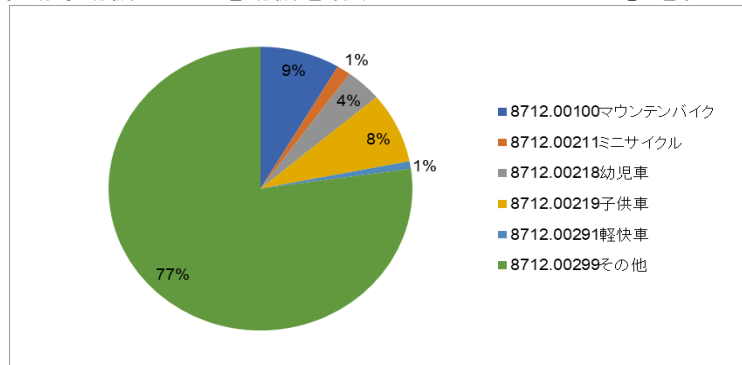
表 18 平成 30 年 1～9 月の我が国の「台湾」からの完成自転車輸入  
(「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)

関税番号及び車種	台数(台)	総 CIF 金額 (千円)	平均 CIF 単価 (円)
8712.00100 マウンテンバイク	8,991	385,650	42,893
8712.00211 ミニサイクル	1,570	59,082	37,632
8712.00218 幼児車	4,084	24,938	6,106
8712.00219 子供車	8,516	168,654	19,804
8712.00291 軽快車	910	30,803	33,849
8712.00299 その他	81,681	5,900,066	72,233
計	105,752	6,569,193	62,119

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 18 に示した平成 30 年 1～9 月の「台湾」からの自転車輸入について車種別の台数割合をグラフにより示したものが図 Q である。全体の輸入状況を表した図 H や「中華人民共和国」からの輸入状況を示した図 O とは異なり、「その他」が 77% と大きな割合を占め、次いで「マウンテンバイク」が 9% を占めている。一方で、「軽快車」は僅か 1% を占めるにすぎない状況となっている。

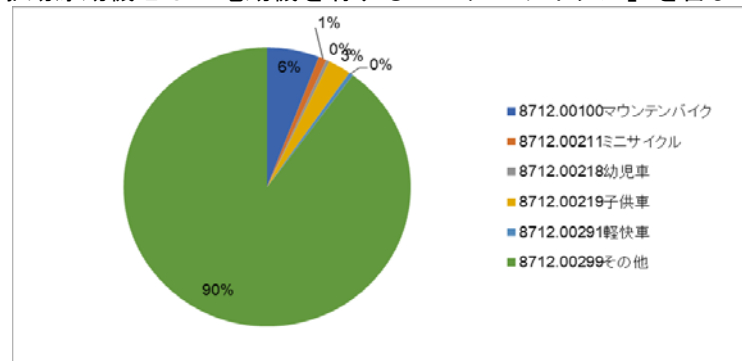
図 Q 平成 30 年 1～9 月の我が国の「台湾」からの自転車輸入 車種別台数割合  
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に表 1 8 に示した平成 30 年 1～9 月の「台湾」からの自転車輸入について、車種別の金額割合をグラフにより示したものが図 R である。台数割合の場合より特徴が一層顕著に表れており「その他」が 90% を占めるに及んでいる。次いで「マウンテンバイク」が 6% を占め、「軽快車」はごく僅かである。

図 R 平成 30 年 1～9 月の我が国の「台湾」からの自転車輸入 車種別 CIF 金額割合  
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

続いて参考まで、平成 30 年 1～9 月の平成 29 年 1～9 月と比較した、我が国の「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入に関し、その主要供給元を表 1 9 に示す。

表 19 参考 平成 30 年 1～9 月の我が国の「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入 主要供給元 平成 29 年 1～9 月との比較

供給元	台数	輸入総台数に占める割合 (%)	CIF 金額 (千円)	輸入総金額に占める割合 (%)	平均 CIF 単価 (円)
平 30.1～9 中華人民共和国	230,115	98.2	8,748,449	95.8	38,018
平 29.1～9 中華人民共和国	128,189	99.5	4,825,882	95.9	37,647
変化	101,926	-1.3	3,922,567	-0.2	371
平 30.1～9 台湾	3,630	1.5	208,834	2.3	57,530
平 29.1～9 台湾	402	0.3	48,991	1.0	121,868
変化	3,228	1.2	159,843	1.3	-64,338
平 30.1～9 その他	501	0.2	177,871	1.9	355,032
平 29.1～9 その他	213	0.2	156,182	3.1	733,249
変化	288	0.0	21,689	-1.2	-378,217
平 30.1～9 計	234,246	100.0	9,135,154	100.0	38,998
平 29.1～9 計	128,804	100.0	5,031,055	100.0	39,060
変化	105,442	0.0	4,104,099	0.0	-62

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

#### 4. 国内向け数量

我が国の完成自転車輸出はその殆ど全てが中古車の途上国向け輸出であるため、「生産台数」と「輸入台数」の合計が「国内向け数量」と考えられる。毎年 1～9 月の「国内向け数量」について、過去 15 年間の推移を表 20 に示す。平成 30 年 1～9 月期の国内向け数量は 5,378,757 台で、対前年同期比 9.3% 減、過去 15 年間で最低となった。また国内生産比率は 11.6% であった。

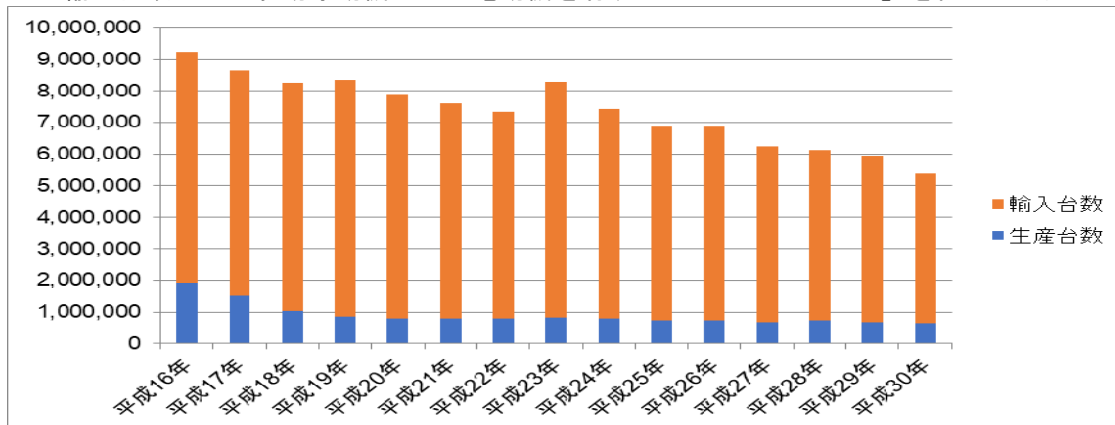
表 20 毎年 1～9 月の我が国完成自転車の国内向け数量の過去 15 年間の推移  
(生産台数には「電動アシスト車」を含み、  
輸入台数には「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)

年	生産台数	輸入台数	国内向け数量	国内生産の比率%
平成 30 年	623,456	4,755,301	5,378,757	11.6
平成 29 年	649,945	5,279,296	5,929,241	11.0
平成 28 年	704,637	5,407,408	6,112,045	11.5
平成 27 年	661,545	5,563,740	6,225,285	10.6
平成 26 年	713,781	6,156,819	6,870,600	10.4
平成 25 年	714,851	6,164,050	6,878,901	10.4
平成 24 年	781,456	6,645,307	7,426,763	10.5
平成 23 年	831,406	7,439,430	8,270,836	10.1
平成 22 年	797,261	6,532,074	7,329,335	10.9
平成 21 年	792,224	6,805,437	7,597,661	10.4
平成 20 年	810,141	7,055,737	7,865,878	10.3
平成 19 年	854,776	7,472,189	8,326,965	10.3
平成 18 年	1,031,806	7,218,377	8,250,183	12.5
平成 17 年	1,520,226	7,122,058	8,642,284	17.6
平成 16 年	1,910,976	7,305,694	9,216,670	20.7

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成 29 年以前の数値は改定値）、  
財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

これらの模様をグラフにより示したものが図 S である。

図 S 毎年 1～9 月の我が国完成自転車の国内向け数量の過去 15 年間の推移  
 (生産台数には「電動アシスト車」を含み、  
 輸入台数には「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：経済産業省生産動態統計調査（平成 29 年以前の数値は改定値）、  
 財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

## 5. 我が国の自転車輸出

我が国の自転車輸出は途上国向けの中古自転車が殆どである。平成 30 年 9 月の我が国自転車輸出の主な仕向け先を表 2 1 に示す。平均 FOB 単価を見ればこれらの自転車輸出は中古自転車輸出である事は明らかである。尚、輸出に関する分析では「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」は対象から除外している。

表 2 1 平成 30 年 9 月 主要仕向け先別の我が国の完成自転車輸出

仕向け先国・地域	総台数	総 FOB 金額 (千円)	平均 FOB 単価(円)
ガーナ	49,967	77,436	1,550
カンボジア	38,894	78,755	2,025
ミャンマー	35,275	50,042	1,419
タンザニア	29,270	51,364	1,755
イラク	19,443	37,682	1,938
アフガニスタン	17,873	28,101	1,572
ナイジェリア	10,327	17,053	1,651
UAE	7,723	12,214	1,582
フィリピン	7,311	13,440	1,838
タイ	3,992	5,855	1,467
その他	7,892	23,693	3,002
計	227,967	395,635	1,735

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 2 2 に平成 16 年から平成 30 年までの過去 15 年間の毎年 1～9 月の我が国自転車輸出の推移を示す。総台数は過去 15 年間で 6 番目、総金額は過去 15 年間で 4 番目となっている。平成 30 年 1～9 月の平均 FOB 単価は 1,669 円で、過去 15 年間で 3 番目となっている。

表 2 2 毎年 1～9 月の我が国自転車輸出の過去 15 年間の推移 全車種

年	総台数	総 FOB 金額 (千円)	平均 FOB 単価(円)
平成 30 年	2,234,052	3,727,953	1,669
平成 29 年	2,365,612	3,788,198	1,601
平成 28 年	2,332,886	4,090,139	1,753
平成 27 年	2,570,617	4,645,451	1,807
平成 26 年	2,420,144	3,665,553	1,515
平成 25 年	2,323,183	3,157,174	1,359
平成 24 年	2,193,967	2,874,936	1,310
平成 23 年	1,907,450	2,514,470	1,318
平成 22 年	1,751,898	2,328,719	1,329
平成 21 年	1,595,171	2,190,288	1,373
平成 20 年	1,743,907	2,904,059	1,665
平成 19 年	1,420,134	1,935,946	1,363
平成 18 年	960,014	1,034,642	1,078
平成 17 年	879,327	992,025	1,128
平成 16 年	751,450	957,533	1,274

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

以 上